

一般社団法人木の花会  
この花KidsRoom

令和4年度

保育所自己評価

# 令和4年度 この花KidsRoom 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項目	内容	A	B	C	D	コメント
保育理念	園の保育方針を理解している	2	6	1		
	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重している	1	8			
	一人ひとりのありのままの姿を受け入れることができる		9			

項目	内容	A	B	C	D	コメント
保育計画	園の保育方針・全体的計画を理解して、保育計画を立てている		8	1		
	担任間で話し合っ、保育目標を立てている	1	6	2		
	各年齢の発達段階に合わせて、保育計画を立てている	3	4	2		
	必要に応じて保育計画の見直しを行っている	2	4	3		

項目	内容	A	B	C	D	コメント
保育実践	園の保育方針を理解し、実践しようと努めている	2	6	1		
	年間保育計画を意識して保育に取り組んでいる	1	4	4		
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育に取り組んでいる		6	3		

# 令和4年度 この花KidsRoom 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項目	内容	A	B	C	D	コメント
保育内容	保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。		7	2		
	子ども一人一人の思いを受け止めその思いをできるだけ実現させようと努めている。		8	1		
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている	2	6	1		

項目	内容	A	B	C	D	コメント
子どもとの関わり	一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている	1	6	2		
	一人ひとりの子どもの話を聞き、丁寧に関わっている	1	4	4		時間帯によっては丁寧に関わることが出来なかった
	特定の子どものみを特別扱いしていない	3	6			
	叱るときに大きな声を出したり威圧的な態度をとったりしていない	1	7		1	何度か声掛けをしても聞かない時に大きな声になってしまった
	相手の立場に立って物事を考えることができるよう子どもが考える機会を作っている		6	3		

項目	内容	A	B	C	D	コメント
環境づくり	子どもの発達や興味を促すための環境づくりを心がけている		5	4		
	玩具・遊具については必要に応じて消毒したり、衛生面に配慮する	6	3			
	玩具・遊具については壊れたものや危険なものがないか注意して確認している	5	4			遊んでいる最中も確認し安全に遊べるよう気を付けた

# 令和4年度 この花KidsRoom 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項目	内容	A	B	C	D	コメント
健康 支援	子どもの日々の健康状態を把握し、一人一人の体調を把握した上で保育を行っている	6	3			受け入れの際、保護者の方への変化を確認している
	子どもの体調不良や怪我等の情報を園長・主任に報告している	6	3			
	子どもの体調不良や怪我・アレルギー等の情報を職員間で共有している	6	3			
	感染症予防の為、常に換気を行っている	6	3			
	保育室が暑すぎたり寒すぎたりしないよう室内の温度を適宜確認・調節している	7	2			

項目	内容	A	B	C	D	コメント
食事	食事の前の手洗い・手指の消毒を行っている	8	1			手の洗い方を教えながら必ず行っている
	子どもが主体的に食事ができるよう配慮している（食べる順番等を強制していない）		9			野菜等食べてほしいので手伝ってしまう
	偏食がある子どもに無理に食べさせようとしていたり叱ったりしていない	3	6			
	食事がすすまない子どもに無理に食べさせようとしていたり叱ったりしていない	3	6			食べる分だけになっている
	食事の時間が子ども達にとって楽しい時間となるよう配慮している	3	6			
	時にはいつもと違う場所で食べるなどの工夫を行っている		1	3	5	園庭で食べる等の計画を立てたい

# 令和4年度 この花KidsRoom 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項目	内容	A	B	C	D	コメント
保護者対応	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	4	5			
	送迎時には保護者へ子どもの姿・様子を伝えている	2	7			
	保護者に子どもの良いところや課題を伝えるなど連携をとっている		5	4		
	怪我等があった際には真摯な態度で謝罪し丁寧な状況説明を行っている	1	7	1		
	常に平等に保護者に接している (保護者によって対応を変えていない)	3	6			

項目	内容	A	B	C	D	コメント
事故防止・安全対策	園庭や園外保育では常に死角や危険な場所を事前に把握しポジションについている	3	6			遊んでいる最中も人数確認を行っている
	園庭等では職員が1か所に固まることがないように、分散しての見守りを意識している	5	4			
	子ども達へ危険な場所や行動について事前に伝え注意を促している	3	6			約束事をしてから遊ばせる
	子ども達が屋外へ出ることがないように門扉等が開いていないか常に注意している	5	4			
	遊具の安全点検を行い破損・不具合の箇所は、必要に応じて対策をとっている	4	5			

項目	内容	A	B	C	D	コメント
保育の反省と評価	行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している	2	4	3		
	保育計画については計画の区切りの時期に適切に反省と評価を行っている		5	4		
	年度末には1年間の振り返りを行い、自身の保育内容の反省・評価を行っている		8	1		

# 令和4年度 この花KidsRoom 自己評価表（保育）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

項目	内容	A	B	C	D	コメント
職員の 資質 向上	保育に関わる知識や技術の向上に日頃から努めている		5	3	1	
	保育士の人間性が子どもに大きな影響を与えることを自覚して、研鑽に励んでいる		7	2		
	園の内外における研修に積極的に参加している	4	3	2		

項目	内容	A	B	C	D	コメント
事務 管理 ・ 運用	個人記録簿や各種書類は適切に記載し、整理保管ができています	2	6	1		
	電話対応は丁寧な言葉で対応し、必要に応じてメモを取り園長・主任に報告している	2	5	2		
	保育園の買い物等の際には、事前に園長・主任に相談している	4	4	1		
	保育園の買い物等の際には、遅くとも翌日までに領収書の提出を行っている	2	3	3	1	

項目	内容	A	B	C	D	コメント
保育園の 組織 ・ 役割 分担	職場内での連携がとれるよう意識している	5	4			
	自身が任せられた業務は責任感をもってこなしている	2	6	1		
	園内で知りえた事柄に対するの守秘義務は徹底できている	5	4			
	園長・主任への「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」ができています	5	4			
	職員間での「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」ができています	8	12	3	1	
	職員会議等で必要に応じて質問や自分の意見を言うことができています	1	5	2	1	

# 令和4年度 この花KidsRoom 保育所自己評価

## 総合評価

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

保育理念		保育計画		保育実践		保育内容		子どもとの関わり	
評価	B	評価	B	評価	B	評価	B	評価	B

環境づくり		健康支援		食事		保護者対応		事故防止・安全対策	
評価	B	評価	B	評価	A	評価	A	評価	B

保育の反省と評価		職員の資質向上		事務管理・運用		保育園の組織・役割分担	
評価	B	評価	B	評価	B	評価	A

## まとめ

### 令和4年度 保育所自己評価のまとめ

今年度は不適切保育についていろいろ取り上げられる中での保育となり職員全体で保育のあり方を改めて考え意識する一年となり職員の葛藤が感じられた。また、昨年度に引き続きコロナ禍の中での保育となり、様々な規制の中で園児や保護者の皆様のみならず職員にとっても保育の計画やモチベーションの維持が難しい1年だったと感じる。

コロナ禍ということで今年度も7月の夕涼み会は中止せざるを得ない状況であったため、園内でお祭りごっこを実施したりと職員が工夫・計画をしながら実行でき園児たちの笑顔を見ることで職員も自信に繋げることができた。また、昨年度まで実施できなかった発表会を午前・午後の2部制で人数制限を行いながらも実施できたことは一つ前に進めたように感じた。保護者の皆様にも子ども達の成長を目の当たりにできる良い機会となったことと思う。

園児の様子やおうちでの様子をお便り帳や送迎時に伝え合うことで園児の成長や課題等を一緒に把握し共有することができ、写真や動画をメール配信したり玄関に張り出してお迎え時に見て頂くことで園児と保護者の方との間で会話が広がりコミュニケーションを図れるきっかけになることができ保護者の方からも高評価を頂いた。

各自の自己評価を見ていく中で、評価が低い職員が多く自信に繋げていけるように少しずつ様々な経験を積み重ねていく中で子ども達や保護者の皆様にとって各自が自分に何ができるかを模索しながら少しずつ自信につなげていってもらいたいと思う。

令和4年度の自己評価をもとに令和5年度はもう一歩より良い保育が行えるように試行錯誤しながら保育業務を行っていききたい。